



丹波地域ビジョン委員会情報誌

# うりぼうニュース

第22号  
平成25年11月発行

「うりぼうニュース」の「うりぼう」とは、「イノシシの子ども」のことで、丹波地域がイメージでき、これからの成長を願えるようにと命名しています。

発行：丹波地域ビジョン委員会 〒669-3309 丹波市柏原町柏原688 TEL(0795)72-0500(内217) FAX(0795)72-3013

## 第6期丹波地域ビジョン委員会☆活動中！



さるが出た!!



たんばなう



高齢者の生きがづくり



男女共同参画



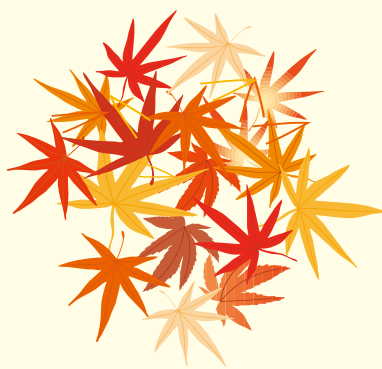
青少年健全育成



遊楽農



都市との交流



里山のお宝探検隊

平成24年度にスタートした第6期ビジョン委員会も2年目となりました。丹波地域ビジョンの実現にむけて、8つの実践活動グループがそれぞれ活発な活動を行っていますので、活動内容等をご紹介します。

# 各実践活動グループの活動紹介

## 遊楽農グループ

～農業の楽しさ・面白さを丹波で体験しよう～

有機野菜栽培体験塾「第4期丹波の里塾」を開催しています。

- 4月20日(土) 肥料まき、野菜苗作り
- 6月15日(土) 草引き、支柱立てなどの野菜管理作業
- 7月20日(土) 草引き、支柱立てなどの野菜管理作業
- 8月17日(土) 夏野菜の収穫祭
- 9月21日(土) 肥料まき、野菜苗作り
- 10月19日(土) 間引き、虫取りなどの野菜管理作業
- 11月16日(土) 秋野菜の収穫祭

夏の収穫祭にはたくさんの参加があり、大鍋で収穫した野菜を使ったカレーを作りおいしくいただきました。



野菜管理作業



収穫祭でのカレー作り

## グループたんばなう



丹波GOGOフェスタ 2013出店

グループたんばなうは、地域に隠れた使われていない資源を発掘して活用することで、利益を生み出すビジネスを作っていく活動をしています。昨年度の取り組みの中で、柿、マコモ、廃鶏、ゆず、など個人の庭や畑で作っていても、アイデアがなく活用されていない商材が見つかりました。本年度は、その商材の中で収益性や手間などの観点を考慮して、マコモ茶や廃鶏を使った商品メニューの開発を行っており、考案した商品をイベント出店を通じてお客様がどんな反応をするかを実際に見て確かめています。ビジョン委員の活動自体は2年と決まっていますが、これをきっかけに引き続きビジネス創出の活動を続けていくつもりです。

試作品検討

## 高齢者の生きがいづくりグループ



脊椎ストレッチウォーキング講習会



インターバル速歩の実践

高齢者の生きがいづくりグループでは、高齢者の健康増進と体力向上を目的とした講演会「インターバル速歩(H25.2.17)」「脊椎ストレッチウォーキング(H25.6.29)」「ノルディックウォーキング(H25.8.3)」を篠山市の協力のもと実施してきました。

現在「インターバル速歩」短期実践(9月14日～12月21日の3か月)に体力アップと健康増進をめざして、約50名の方が3か月後の体力測定を楽しみに取り組んでいます。

## 青少年健全育成グループ

～不登校 ひきこもりを地域で支えよう～

青少年健全育成グループでは不登校やひきこもりの当事者・家族を支えるネットワークをつくっています。

### 【主な活動内容】

- 1月 居場所「TAMARIBA」(丹波市春日町)を開所しました。毎週日曜、月曜がオープン日です。
- 3月 「TAMARIBA」にて 日曜喫茶 開店しました。
- 4月 「TAMARIBA」にて 日曜喫茶 開店しました。
- 7月 出張あそび村 パン作り 木のおもちゃ作り 春日部小学校の夏休み家庭教育学級の開催に協力しました。



木のおもちゃ作り



パン作り

## 里山のお宝探検隊グループ

赤レンガトンネルがある里山をぶらりハイク(追入公民館をスタート、大乘寺、鬼の架け橋、金山頂上、明治・昭和のトンネルを巡るコース)を企画し、4月28日(日)好天の中で開催することが出来ました。

参加者は、募集人員をはるかに超える38名、おもてなしは地域の追入自治会、大乘寺住職、大山郷づくり協議会、トンネル管理者の皆様方とスタッフを務める森林インストラクター、都市との交流グループの方々のご支援のもと無事に終わることが出来ました。

内容も盛り沢山で里山を楽しみ、知的な丹波のお土産を持ち帰っていただくことが出来たと思います。

今回の成果は、参加者のアンケートから、大満足、次の機会にもぜひ参加したい、楽しい企画内容であった等、数多くの言葉にありました。

里山を知る：地区の景観、各見学ポイントの歴史、文化的資産

里山を肌で感じる：森林浴、山菜採り

里山を舌で感じる：郷土料理のとふめし、山菜の天ぷら

里山を対話で感じる：参加者と地域の人たち、スタッフとのコミュニケーション



金山頂上での歴史ガイド

## 都市との交流グループ

「都市住民と丹波地域住民が交流する」、「都市住民が丹波地域へ移住・定住する」、これが私たちのグループがめざす活動です。

3月24日(日)には、丹波市青垣町の田舎暮らし体験古民家「かじかの郷」で同町のIターン者も加わり、都市部の住民と地元住民との交流会を開催し、地域の魅力や実際の暮らしぶりについて意見交換をしました。

また、里山のお宝探検隊グループとの協力イベントとして、4月28日(日)の「赤レンガトンネルがある里山をぶらりハイク」、10月6日(日)の江古花園周辺での「里山楽校」に参加しました。

今後の活動として、

- ① Iターン者・Uターン者が語る「丹波で暮らす、丹波で生きる」(手記) 平成26年2月完成
- ② Iターン者・Uターン者も参加する「丹波のまちづくりを考えるフォーラム」平成26年1月26日(日)開催を予定しています。
- ②の「丹波のまちづくりを考えるフォーラム」については、パネルディスカッションに加えて、フォーラムの一般公募参加者との意見交換を考えていますので、多数の方々の参加をお待ちしています。



かじかの郷での交流会

# 各実践活動グループの活動紹介

## グループさるが出た!!

トラッキング現象(プラグとコンセントの間にたまったほこりが湿気を帯びて発火すること)の実験による講話、身近な物で担架をつくり搬送することや応急手当の方法などの内容で啓発活動をしています。

目の前でトラッキング現象により発火するところを見ていただくと効果は絶大で、参加したほとんどの方は、「家に帰ったらコンセントにホコリがついていないか見てみる。」とされています。堅い話の防災・防犯講話を、手作り紙芝居や実験装置を使い、やさしく、わかりやすく、また少し楽しんでいただくことを目指し、メニューも増やして色々なニーズにも対応できるようにしていきたいとも考えています。

実践活動のご依頼をどうぞよろしくお願ひします。



啓発活動の様子

## 男女共同参画グループ



造り酒屋の女性杜氏(後列中央左)と

男女共同参画グループは、去る10月3日、京都府福知山市にある造り酒屋 東和酒造有限会社で視察研修を行いました。

代々続いてきた酒屋を閉じなければならなくなった時、自分の力で再興させようと修行・研究に励み、自ら杜氏となり地酒を造っている30代の女性から、パワーあふれる話を聞かせていただきました。また、結婚後、夫婦それぞれの思いを尊重しながら、お互いの生き方を認め合い生活されている様に、まさに男女共同参画を見た思いでした。

今年度は、男女共同参画の基本をわかりやすく説明した紙芝居「さんかくちゃん」(白山市 iーさんかく座制作)にも取り組んでいます。11月には篠山の自治会で、12月には春日文化ホールで開催される「丹(まごころ)の里人権フェスティバル2013」での上演も依頼されています。

今回の研修会での経験を生かし、さらに男女共同参画への理解を深め、啓発活動に励んでいきたいと思ひます。



紙芝居「さんかくちゃん」

改訂丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」の実現状況をフォローアップするため、地域ビジョンに係る指標を策定しました。詳しくは 丹波県民局ホームページ <http://web.pref.hyogo.lg.jp/tnk02/shihyou-page.html> をご覧ください。

ご意見をお待ちしています。

〒六六九-1330

丹波市柏原町柏原六八八

兵庫県丹波県民局県民室内

丹波地域ビジョン委員会事務局

電話(0795)71-0500

(内線二一七)

FAX(0795)71-3033

編集後記

第六期ビジョン委員会の活動もあと半年となりました。さらなる実践活動の推進に取り組んでいきます。

誰もが住みよい丹波地域の実現のため、活動の輪が広がるよう、平成二六年二月に、各グループの活動などを発表する丹波の森夢会議を開催する予定です。ぜひ一度参加してみてください。

事務局